

TSUDOI

スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Ethereum	 BNB	 Bittensor
中堅	 Dash	 ZORA	 BNB Attestation Service
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 10/17

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#2	 Ethereum	Layer1	¥72,942,709,855,772	¥604,336.72	—	-9.74%
#4	 BNB	Layer1	¥24,845,450,620,447	¥178,511.51	2.94倍 (ETH比)	-10%
#29	 Bittensor	AI & Big Data	¥596,208,827,441	¥59,035.30	—	19.15%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、-10.04%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Ethereum：ETH（GOOD）

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Fusaka大型アップグレード検証完了で12月実装確定

10/15、EthereumのFusakaアップグレードがテストネット[Sepolia]で稼働開始しました。PeerDAS実装でLayer2処理能力を8-10倍に拡大しArbitrumやOptimism、Base、zkSyncなど主要L2の手数料を最大92%削減します。10/15のテストネット成功で12/3メインネット実装への信頼性が確認され、中長期的にはEthereumが高スループットチェーンと競争可能となりDeFi・NFT・GameFi利用コストが低下します。ただし10/10のトランプ関税ショックで全市場が急落した中ETHも影響を受け、マクロ環境の不安定さがアップグレード効果を相殺するリスクがあります。技術優位性強化は長期的にはプラスですが短期的には慎重な見方も必要です。

AIによる相場分析：ETH

現在のETHは約3,931ドル（約63万円）で、3,900ドル（約62.6万円）付近が下支えとなっています。短期的には買いがやや弱く、4,000ドル（約64.2万円）を超えにくい状況です。3,800ドル（約61万円）を下回ると、3,600ドル（約57.8万円）付近まで下げる可能性もありますが、長期的には3,700ドル（約59.4万円）前後が反発の目安となりそうです。

BNB：BNB

本銘柄は、直近3カ月で5度目の選出となります。

注目ポイント：米国最大手Coinbase上場で規制市場へ本格進出

10/16、米国最大手Coinbase取引所がBNB上場準備を公式発表しました。CoinbaseはSEC監視下の米国唯一のNasdaq上場取引所であり、BNB取扱いが規制当局の一定承認を意味します。これにより米国の機関投資家と保守的個人投資家がアクセス可能となります。一方でBinanceは2025年10月10日のトランプ関税ショックで投資家からの信頼が揺らいでいます。同事件では190億ドル超の強制ロスカットが発生し、Binance内部の価格参照システムの不備により160万人以上が損失を被りました。2.83億ドルの補償を実施したものの、システム設計への不信感が残存しています。Coinbase上場はBinance依存度を下げる選択肢を提供し米国市場での流動性向上に寄与しますが、Binanceプラットフォームの信頼回復が中長期的なBNB需要拡大の鍵となります。

Bittensor：TAO (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：機関投資家向け商品が4件同時展開で採用拡大

10/7～10/13にBittensorは機関投資家向け商品が4件同時発表されました。10/9に大手投資会社DCGがAI開発専用ファンド「Yuma」を1,000万ドルで立ち上げ、10/12には資産運用大手Grayscaleが投資信託の設立申請を米国証券取引委員会に提出し投資家の保有期間を12ヶ月から6ヶ月へ短縮、10/13には米国株式市場上場企業TAO Synergiesが1,100万ドル資金調達を発表、10/7にはネットワーク大型改良も完了しました。さらに12/10前後に予定される初の半減期は、日次発行量が7,200→3,600TAOへ50%減少する供給サイドの劇的な変化であり、希少性が急激に上昇します。中長期的にはGrayscale投資信託承認後の機関資金本格流入と半減期による供給減少が重なり、両面から極めて重要なターニングポイントを迎えています。

AIによる相場分析：TAO

TAOは現在376ドル（約5万8,000円）前後で動いており、最近は少し下向きです。400ドル（約6万1,500円）付近が上の壁となり、350ドル（約5万3,800円）付近が下の支えです。短期的にはやや弱い流れですが、350ドル（約5万3,800円）を保てば再び持ち直す可能性があります。焦らず反発を確認してから買うのが安心です。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 10/17

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数、RSIを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#97	 <u>Dash</u>	Privacy	¥90,673,335,785	¥7,284.65	9.79倍 (XMR比)	53.04%
#128	 <u>ZORA</u>	Layer2	¥61,840,717,500	¥13.83	14.62倍 (MNT比)	69.18%
#226	 <u>BNB Attestation Service</u>	Identity	¥31,352,910,694	¥12.54	10.00倍 (WLD比)	261.18%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-10.04%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Dash：DASH

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：プライバシーコイン需要拡大とクジラ蓄積で5年ダウントレンド突破

10/2～10/14にかけて Dashはプライバシーコインセクター全体のラリーを主導し週次67%上昇。この上昇はCBDC監視懸念とGrayscaleのZcash Trust立ち上げで、プライバシー保護機能暗号資産への注目が高まったことが背景です。興味深いのは10/10のトランプ関税ショックで全市場が急落する中Dashは逆行高を記録した点で、リスク回避資金がプライバシーコインに流入した可能性があります。オンチェーン分析では上位100アドレスの保有比率が25%（2025年初）から36%（10月）へ上昇し10年ぶり高水準に達しました。中長期的にはプライバシーコイン規制強化の中Dashは決済実績（2013年創業）で優位性を持ちますが、規制リスクと市場のボラティリティ耐性が需要持続の鍵となります。

Zora : ZORA

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Robinhood上場で2300万米国投資家にアクセス拡大

10/9、米国大手RobinhoodがZORA上場を公式発表しました。Robinhoodはユーザー数2,300万人超の米国最大級リテール投資アプリで保守的個人投資家層に広く利用されています。ZORAはNFTプロトコルとしてクリエイターが独自マーケットプレイスを構築できるインフラを提供しBase Chain上で活発に利用されています。中長期的にはRobinhood上場で暗号資産ネイティブでない米国投資家層がアクセス可能となりユーザー基盤が拡大が期待されます。ただしNFT市場は2023年のピークから大幅縮小しており、Robinhood上場が需要回復の起爆剤となるかは不透明となり、NFT市場全体の成熟が課題です。

BNB Attestation Service : BAS

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：KYCインフラとして急伸するがボラ高

10月中旬に過去最高値を更新し週次で大幅上昇、Sumsuab提携や[PancakeSwap統合でBNBチェーンの信頼レイヤーとして注目度が急上昇](#)しました。Sumsuab統合により、[ユーザーは一度本人確認を行えば複数のWeb3アプリで再利用できる仕組み](#)で、オンボーディング時間を半減しコンバージョン率を大幅向上させます。[コンプライアンス需要が高まる中、KYCインフラは規制強化トレンドに合致し長期的な実用性が期待](#)されます。ただし、クジラ買い集中により価格変動は極端で、急騰後の短期的な調整リスクがあります。中長期的には、エコシステムへの開発投資が継続しサービス品質が安定すれば採用余地は大きいですが、短期的にはボラティリティが高まる可能性があります。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 10/17

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング250位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>